

県議会において取り上げられた事項の対応状況（概要）

1. 時 期 平成 23 年 02 月定例会（一般質問）
2. 質問年月日 平成 23 年 02 月 25 日
3. 議 員 名 鉄永幸紀 鳥取県議会議員（会派名：自由民主党）
4. 答 弁 者 平井伸治 鳥取県知事
5. 担 当 部 課 県土整備部空港港湾課
6. 質 問 項 目 堆砂除去技術
7. 質 問 要 旨 平成 15 年に酒津漁港の砂の堆積への対策として、地元で取り扱えるような簡易な水中サンドポンプの利用を提案し、県で実験を実施したが、砂が詰まってしまうと聞かれた。県は実験をしたのみで問題を解決する姿勢が不足していると感じた。今一度ポンプの改良に取り組むべきだと思いが、知事の基本的な考えを伺う。
8. 答 弁 要 旨 堆砂を除去することは重要であり、最初に旧気高町（現鳥取市気高町）に移管するときの約束事もある。県としてもサンドリサイクル事業をやっているところもあり、サンドポンプの改良の可能性も含め、鳥取市と協議していきたい。
9. 対 応 方 針 地元の関係者でも取り扱えるような簡易なサンドポンプへの改良方法等について、県内にあるサンドポンプの研究・製造をしている全国有数の企業に相談した。結果、地元の関係者でも取り扱えるような簡易な方法でのサンドポンプの改良は困難との意見であった。しかし、漁港の堆砂問題は、漁港管理上重要な問題であり、今後も簡易な浚渫方法について、情報収集していきたい。